

アニメーション映画/16ミリ・23分/価格 180,000円

文部省選定

# わらぐつの中の神様

杉 みき子



厚生省 中央児童福祉審議会 推薦

製作：アポロン音楽工業株式会社・光村教育図書株式会社



株式  
会社

教配

## わらぐつの中の神様

雪のしんとふる夜、マサエはこたつに当たりながら、おばあちゃんが話す「わらぐつの中の神様」のおはなしに、耳を傾けていました。

むかしこの近くの村に、おみつさんという、むすめが住んでいました。ある日、町の朝市に出かけ、げた屋さんの店さきで、かわいらしい雪げたをみつけたおみつさんは、その雪げたが欲しくて仕方ありませんでした。家に帰ったおみつさんは、お父さんとお母さんに雪げたを買ってとねだりました。けれど、お父さんにだめといわれ、自分で働いてでもあの雪げたを買おうと考えました。

おみつさんは毎晩家の仕事をすませると、わらぐつを作りました。やっと一足つくりあげましたが、はじめて作ったわらぐつはとても変なかつこうでした。その代わり少しでも長持ちするようにと、心をこめて編んだわらぐつは、上からつま先まできっちり編みこまれて、じょうぶなことは、この上なしてした。

おみつさんは朝市が立つ日になると、野菜を入れたかごにそのわらぐつを結びつけて町に出かけました。

野菜を買ってくれる人があるとわらぐつをすすめてみましたが、だれも不細工なわらぐつを買ってくれませんでした。やがてお昼近くになって帰ろうとしたとき、わかい大工さんがやって来て、そのわらぐつを見せてくれと言いました。

おみつさんは赤くなりながら、おずおずと差し出しました。

わかい大工さんは手に取ったわらぐつをしばらくながめてから買ってくれました。

おみつさんは、次の市の日までに、また一つ編みあげてもって行きました。するとあのわかい大工さんがやってきて、また買ってくれました。

それからおみつさんが市に出るたびに、あの大工さんが必ずやってきて買ってくれました。

おみつさんは、いつの間にかその大工さんの顔を見るのが楽しみになっていましたが、こんなに買ってくれるのが不思議で、思いきってその訳をたずねてみました。大工さんは自分はわらぐつを作ったことはないけど、仕事のよしあしはわかるつもりだ。使う人の身になって、使いやすく長持ちするように作るのがよい仕事というものだ。自分もそんな仕事をする大工になりたいと思っていますと答えました。

そう言ってから、大工さんはおみつさんの顔を見つめながら、およめにきてくれないかと言いました。大工さんは心をこめて作ったものには神様が入っているのと同じ、そしてそれを作った人も神様とおなじだ。お前さんが来てくれたら神様みたいに大事にするつもりだと言いました。

「それで、おみつさんは、その大工さんのとこへおよめに行ったの」

「そして大工さんはおみつさんを神様みたいに大事にしたの」と、マサエはおばあちゃんにたずねました。

「神様とまではいかないようだったけど、とてもやさしくしてくれたよ」

おばあちゃんが答えました。

やがてマサエは、そのおみつさんが、自分のおばあちゃんのことだと気がつきました。

おばあちゃんはおじいちゃんに買ってもらった雪げたをはかずに今でも大切にもっていました。そして、その雪げたをマサエに見せてくれました。

町のげた屋の店さきでおみつが見つけた、あの赤いつま皮のついた、かわいい雪げたです。



株式会社 教 配

〒190-0012  
東京都立川市曙町2-36-2 ファール立川センタースクエア  
TEL:042-518-9774(代) FAX:042-518-9785